

### 3.岐阜県における砂防事業の施策

県内の土砂災害警戒区域数は約18,000箇所となり、県内を全般的に区域指定を実施しました。これらの箇所  
でハード対策(施設整備)を実施するには膨大な時間と費用が必要となります。また、県が公共事業として事業実  
施することができない箇所もあります。このような状況下で、土砂災害による人的被害を軽減していくためには、  
土砂災害警戒区域における確実な警戒避難の実施や住宅等の新規立地抑制等のソフト対策も重視し、ハード対  
策と連携させた総合的な施策が必要です。  
また、砂防関係施設の高齢化が進むと劣化損傷等が増加する傾向にあります。計画的な点検により劣化損傷を  
適切に補修を行う予防保全的な管理を行うことで、施設の機能を保持する必要があります。

#### 岐阜県における砂防事業の現状と課題

③ 最近5年間の取組状況	土砂災害警戒区域数が全国的に高いレベル
④ 課題・今後の目標	避難の実効性向上
① 近年の土砂災害	豪雨頻度の増加
	被災者の49%が要配慮者
	屋内犠牲者が多い
② 事業費の推移	事業費の徐々に回復
③ 最近5年間の取組状況	避難所・避難路の重点実施
⑥ 砂防関係施設の整備状況	なかなか進まないハード対策
③ 最近5年間の取組状況	流木による被害拡大
⑤ 土砂災害の発生状況	土砂災害が各所で発生
① 近年の土砂災害	土砂・洪水氾濫の頻発化
④ 課題・今後の目標	要配慮者利用施設・避難所・防災拠点の重点実施
④ 課題・今後の目標	砂防関係施設の劣化進行
⑦ 砂防関係施設の補修・改築状況	

#### 方針

### 住民の生命と身体を守ることを最優先とした砂防事業の推進

～人命を守るためのソフト対策と被害を軽減させるハード対策を連携させた土砂災害対策の実施～

#### 実施施策

##### 【危険な箇所の明確化・周知】

- ・土砂災害のおそれのある土地の明確化・周知(ソフト対策)
- ・防災意識の向上(ソフト対策)

##### 【土砂災害に対する警戒避難体制の整備】

- ・土砂災害情報の提供(ソフト対策)
- ・安全な避難所と避難路の確保(ソフト対策・ハード対策の重点化)
- ・要配慮者への対策(ソフト対策・ハード対策の重点化)
- ・防災意識の向上(ソフト対策)

##### 【土砂災害に対する安全な県土づくり】

- ・土砂災害特別警戒区域内の適正な土地利用への誘導(ソフト対策)
- ・土砂災害のおそれのある箇所の適正な土砂管理(ソフト対策・ハード対策)
- ・大規模災害への対応(ハード対策)
- ・砂防関係施設の適正な維持管理(ハード対策)
- ・流域治水(砂防)の推進(ソフト対策・ハード対策)